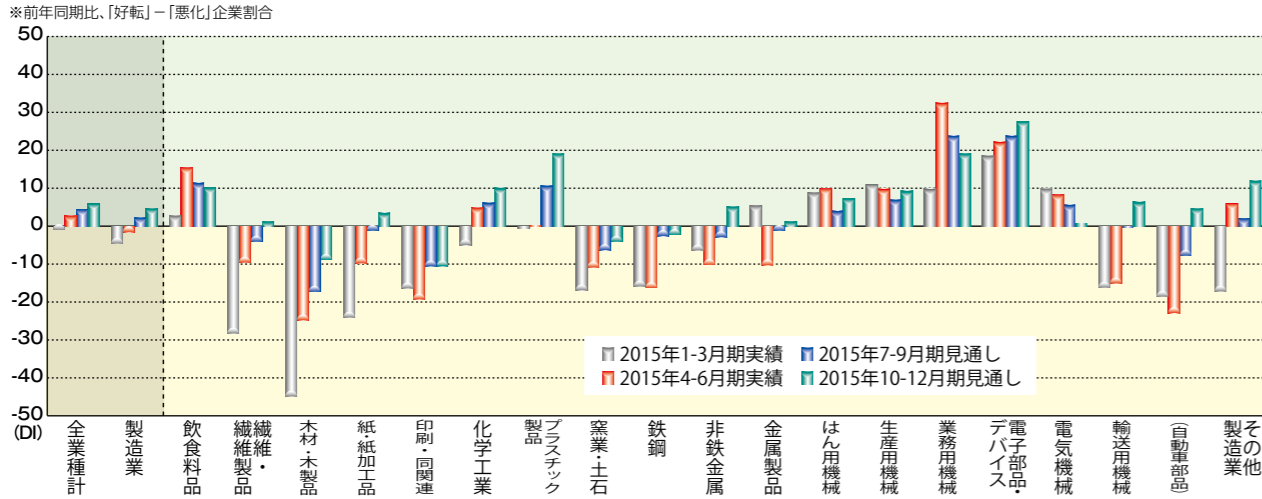


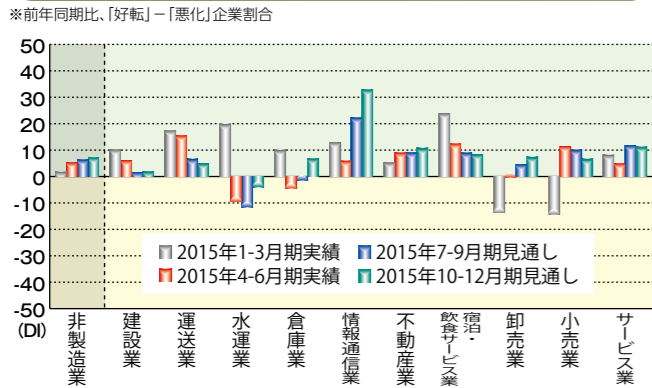
①-2 業種別業況判断

製造業：機械関連の業種に加え、飲食料品でもプラス水準
非製造業：小売業で5期ぶりにプラス水準

製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



製造業
 製造業は、機械関連の業種の多くが引き続きプラス水準となったほか、飲食料品でもプラスとなった。一方、輸送用機械、鉄鋼、金属製品などでは、自動車や建築資材の需要低迷からマイナス水準となったが、来期以降は上昇する見通し。

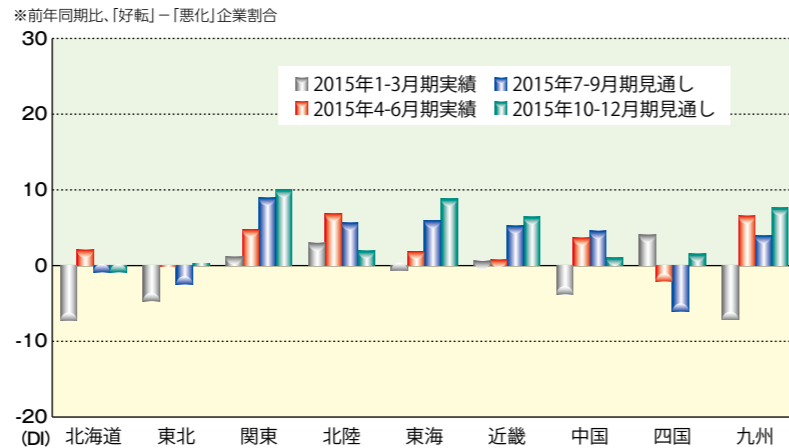
非製造業
 非製造業は、多くの業種でDIはプラス水準となり、小売業では5期ぶりにプラスとなった。来期以降も多くの業種でプラス水準となる見通し。

①-3 地域別業況判断

8地域で上昇

業況判断DIを地域別にみると、8地域で上昇し、北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の7地域でプラス水準となった。来期は、6地域でプラス水準となる見通し。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>



データで見る中小企業の動き
全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2015年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し

『中小企業の景況は、
 緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は7月17日、「全国中小企業動向調査結果(2015年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① **業況判断DI** 前期から上昇し、プラス水準。来期以降も上昇する見通し。
- ② **売上DI** 前期から上昇し、9期連続でプラス水準。来期以降も上昇する見通し。
- ③ **価格関連DI** 販売価格DI・仕入価格DIともに4期連続で低下。
- ④ **純益率DI** 前期から上昇し、来期以降も上昇する見通し。
- ⑤ **従業員DI** 10期連続で上昇し、高い水準にある。
- ⑥ **設備投資実施企業割合** 前期から横ばいとなり、高い水準を維持。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2015年6月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,739社
- 有効回答企業数：6,912社 (回答率50.3%)

①-1 業況判断

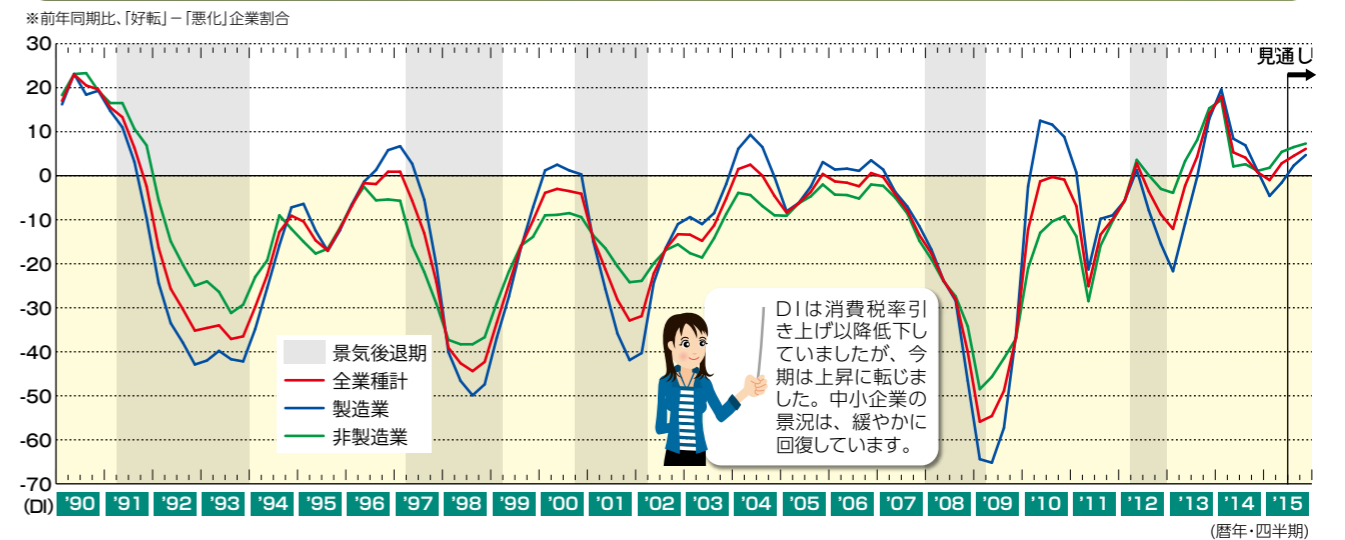
前期から上昇しプラス水準

▲1.0 ▷ 2.8



- 現状 業況判断DI (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合) は前期から3.8ポイント上昇し、2.8となった。
- 見通し 先行きについては上昇し、来期は4.5になる見通し。

業況判断DIの推移<季節調整値>



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向などを把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以來3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業分野においてわが国を代表するビジネスサーベイの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

④ 利益

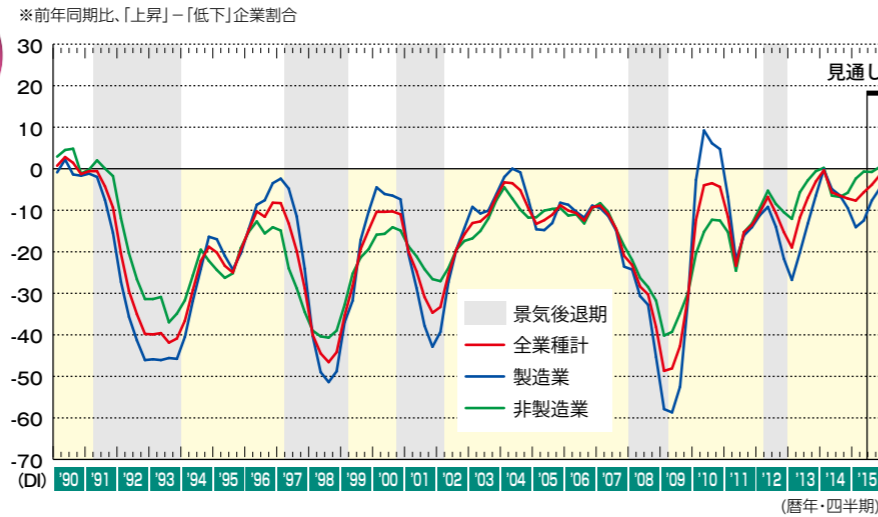
前期から
上昇

▲7.7 ▷ ▲5.7

純益率DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は▲5.7と、前期から2.0ポイント上昇した。来期以降も上昇する見通し。



純益率DIの推移<季節調整値>



② 売上

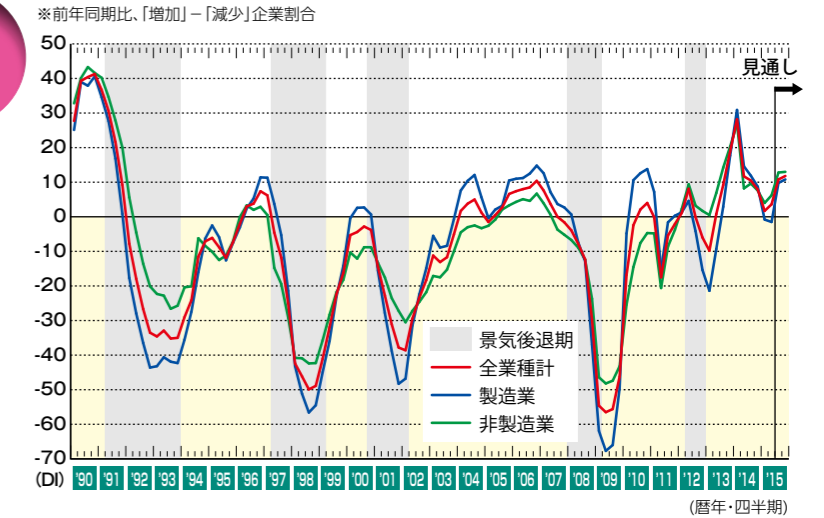
9期連続で
プラス水準

1.7 ▷ 3.6

売上DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は前期から1.9ポイント上昇し、3.6となった。プラス水準は9期連続。来期以降も上昇する見通しである。



売上DIの推移<季節調整値>



⑤ 雇用

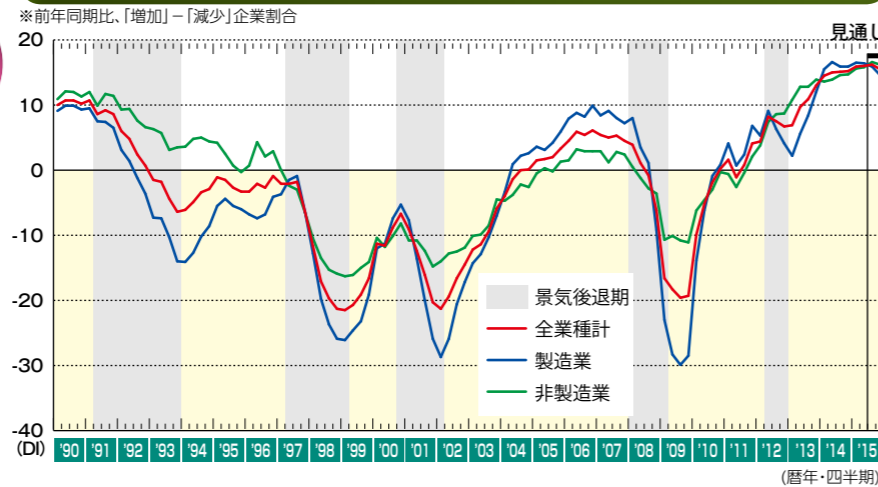
10期連続で
上昇

15.9 ▷ 16.0

従業員DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は、前期から0.1ポイント上昇し、16.0となった。上昇は10期連続。



従業員DIの推移<季節調整値>



③-1 販売価格

プラス幅が縮小

6.5 ▷ 6.1

販売価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から0.4ポイント低下し、6.1となった。低下は4期連続も、7期連続でプラス水準となった。



③-2 仕入価格

プラス幅が縮小

47.7 ▷ 45.1

仕入価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から2.6ポイント低下し、45.1となった。低下は4期連続。



⑥ 設備投資実施企業割合

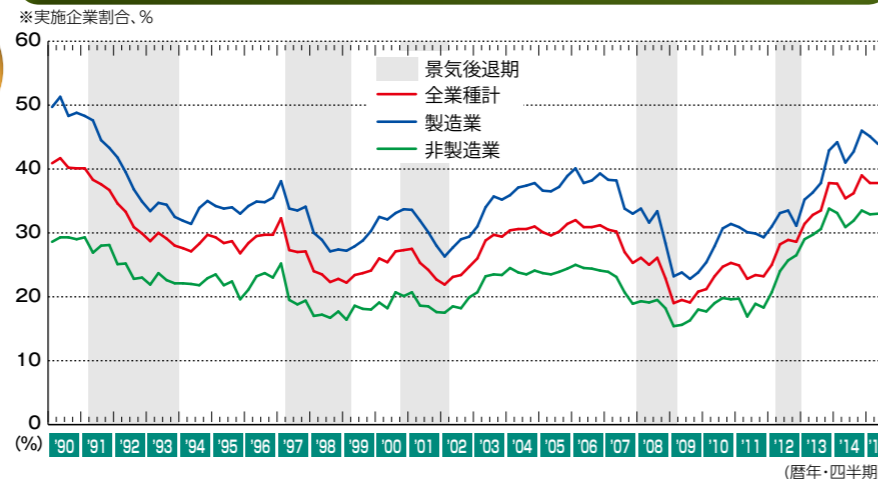
横ばいで
高水準を維持

37.8 ▷ 37.8

設備投資実施企業割合は、前期から横ばいの37.8%と、引き続き高い水準にある。



設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>



価格関連DIの推移<原数値>

